

わたり 議会だより

平成26年2月1日

122号

2014



11月臨時会
12月定例会

わたり温泉の借入金一括償還へ〈12月定例会補正予算〉 — ②

委員会構成の変更 — ⑤

町政のここが聞きたい〈6人が一般質問〉 — ⑥

12月定例会は12月6日から12月13日までの8日間の会期で開催されました。町からは議案28件が提出され、いずれも慎重審議の結果すべて原案のとおり可決しました。主な質疑の内容を紹介いたします。

23億580万円を追加し、総額619億2,400万円にわたり温泉の借入金一括償還へ 8億6,730万円の繰り出し 今後の温泉運営に期待

一般会計補正

平成25年度12月補正予算の主な事業

・わたり温泉鳥の海特別会計繰出金	8億6,730万円
・障害者福祉費扶助費	4,740万円
・子ども子育て支援システム構築事業	1,620万円
・低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業補助金	1,470万円
・学校就学環境整備事業（荒浜小学校プール整備）	1,040万円

わたり温泉鳥の海

鞆子幸則議員 わたり温泉鳥の海の運営計画、運営形態はどのように考えているか。

副町長 平成26年度中に再開を予定しています。まずは日帰り入浴のみの再開を計画しており、周辺環境の整備や温泉内部の安全性を踏まえながら、今後、入浴以外の運営形態についても決めていきたいと考えています。

堤防拡幅工事

鞆子幸則議員 高須賀にある桜つつみ公園の一部まで堤防が拡幅されるようだが、今後、公園は利用可能なのか。

都市建設課長 堤防の拡幅に伴う桜つつみ公園の買収範囲の中に、トイレ



わたり温泉鳥の海



堤防拡幅予定の桜つつみ公園（高須賀）

や駐車場などの施設も含まれます。このことから、公園全体の見直しが必要になります。
佐藤正司議員 この公園は桜つつみモデル事業で桜の植樹を行ったが、生育がよくない。
また、人々が集えるような公園管理になっていないのでは。
都市建設課長 この桜つつみは、平成14年に工事が完了しています。植樹してから10年以上が経過していますが、生育がよ

巨理保育所

くないのは、土質や地形も関係していると考えています。今後、財源も踏まえながら、全体的な見直しをしていきます。
鈴木邦昭議員 巨理保育所のシロアリ駆除について、薬品で園児がアレルギー反応を起こす場合もある。駆除する箇所は園児の手が触れない箇所なのか。

人権擁護委員

平成26年3月31日をもって任期満了となるため
小野 清一氏（長瀬浜）を再任することについて、全員賛成により同意しました。

公の施設の指定管理者の指定

提案理由 現在、「逢隈児童館」の管理は社会福祉法人宮城県福祉事業協会に委任していますが、その実績を踏まえ、平成26年4月1日から平成29年3月31日まで管理の委任を行うものです。
（全員賛成で可決）

指定管理者制度とは

地方公共団体は、公の施設設置の目的を効果的に達成するために、指定した法人やその他の団体に、施設の管理を行わせることができる。

水産業の振興

鈴木高行議員 東日本大震災復興交付基金金費12億円の中に、水産業共同利用施設復興整備事業とあるが、事業内容と開始年度は。

農林水産課長 被災した漁業者のために漁具倉庫と水産加工流通施設を建設するものです。

水産加工流通施設については、被災した荒浜地区で水産加工業で再開を希望する事業者を公募し、加工施設を運営していくものであり、事業金額の8分の7が復興交付金でまかなわれ、残りの8分の1は事業者負担となります。

ともに平成26年度からの事業です。

水道事業給水・下水道条例の一部改正

提案理由 消費税法の一部改正に伴い、消費税および地方消費税の率が平成26年4月1日より5%から8%に引き上げられることから、条例の一部を改正するものです。

（賛成15人 反対1人）
鞆子幸則議員 5%から8%に増税することにより、水道料金および加入金が年間どれくらい増えるのか。

上下水道課長 水道料金は年間約2千万円、加入金は約100万円の増額になると見込んでいます。これはあくまでも消費税として国に納付するものです。

鞆子幸則議員 条例の中に特別な事情がある場合は減免できるとなっている。特別な事情とは何か。
上下水道課長 特別な事情については案件が出た際に、その都度協議させていただきます。

消費税の増税に伴う条例改正 賛否討論

下水道事業条例

反対討論

鞆子 幸則議員 消費税の増税は年金削減等社会保障の負担増、給付減で10兆円もの史上空前の負担増になる。増税が実施されれば、町民の暮らしに深刻な打撃をもたらす。以上のことから反対する。

賛成討論

渡邊 健一議員 公共下水道事業は特別会計で運営されており、消費税を納入する義務がある。増税分の改定を行わない場合の事業への影響を考慮すると、増税分を費用に反映させることはやむをえないと考える。以上のことから賛成する。

水道事業給水条例

反対討論

鞆子 幸則議員 国民所得が大きく落ち込んでいる状況下で、消費税の増税を実施されれば、消費を冷え込ませ、景気を悪化させるだけである。消費税の増税は被災者などの生活に大打撃を与え、復興の妨げになる。以上のことから反対する。

賛成討論

高野 孝一議員 消費税の増税は、社会保障の充実や安定化を図るために必要である。水道事業会計は独立採算で運営され、消費税を納入している。増税分の改正を行わない場合の経営への状況を考慮すると、増税分を料金に反映することはやむをえない。よって賛成する。

委員会の
構成変更

後期メンバー決定

産業建設常任委員会

農林水産課、商工観光課、都市建設課、復興まちづくり課、上下水道課、農業委員会の所管事項について調査や審査を行います。

◎高野 孝一 ○渡邊 健一 熊田 芳子
佐藤 正司 四宮 規彦 佐藤 實

総務常任委員会

総務課、企画財政課、用地対策課、税務課、町民生活課、会計課、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会、監査委員などの所管事項について調査や審査を行います。

◎高野 進 ○鈴木 邦昭 鈴木 洋子
小野 一雄 安藤美重子

議会広報常任委員会

議会だよりの編集や発行を行います。

◎佐藤 正司 ○百井いと子 熊田 芳子
鈴木 邦昭 渡邊 健一 高野 進

教育福祉常任委員会

福祉課、被災者支援課、健康推進課、教育委員会の所管事項について調査や審査を行います。

◎鞠子 幸則 ○佐藤 アヤ 百井いと子
鈴木 高行 熊澤 勇

議会運営委員会

議会を円滑・効率的に運営するため、本会議の日程や議案の取扱い等、議会の運営等に関する事項を協議、決定します。

◎鈴木 高行 ○小野 一雄 高野 孝一
佐藤 正司 高野 進 佐藤 アヤ
鞠子 幸則



凡例
◎委員長
○副委員長

わたり温泉の借入金 一括償還に係る全員 協議会を開催

「わたり温泉島の海」は大震災で被災し、24年度から本町の災害廃棄物処理を担っている大林組復興J-Vの宿舍として、賃借料5億7240万円が今年3月まで貸し出しされています。

現在、この賃借料を財源として災害復旧を進め、再開を目指しています。また建設費用に充てた多額の借入金残高があり、25年度は元金と利子で8700万円の償還が生じ、現状では再開後の運営は非常に厳しい状況にあることから、一般会計からの繰入金とわたり温泉島の海運営基金を活用し、借入金全額を繰上償還し、再開運営への足掛かりとしたい旨の説明を町から受けました。

議員からは、「一般会計から繰り入れすれば、町民の福祉向上をどうす

るのか」、「レストラン、宿泊施設を含めた運営方針は独立採算での町直営なのか、公設民営なのか、しっかりしたビジョンを作成し、今後の運営に当たるべき」など数多くの意見が出されました。

これを受けて町から、まずは今年9月頃を目途に日帰り温泉を再開し、町民の福祉向上・健康増進に努めていくとの意向が示されました。

これを踏まえ、各議員の意見を整理し「わたり温泉島の海」の経営を圧迫する借入金の重荷を解消するためにも、借入金全額を繰上償還することは、やむをえないと確認しました。ただし、今後の「わたり温泉島の海」の運営方針をしっかりと町で検討し、事前に議会に報告することを申し添え、全員協議会を終了しました。

11月臨時会

11月臨時会は11月22日に開催されました。町からは防災集団移転促進事業に係わる土地の取得など議案4件が提出され、いずれも慎重審議の結果すべて原案のとおり可決しました。主な質疑の内容を紹介します。

移転元地の買い上げ 防災集団移転促進事業

提案理由 防災集団移転促進事業により、移転促進区域に指定された土地を取得するものです。
(全員賛成で可決)

事業名	巨理町防災集団移転促進事業
所在地	吉田字須賀畑182番3 外1筆
面積	5295・77㎡
金額	3072万367円
買収単価	7100円/㎡
雑種地	5000円/㎡

鞠子幸則議員 土地を取得して、どのようにに活用するのか。
都市建設課長 吉田東部地区については、3カ所に避難丘を計画しているところだ。

鞠子幸則議員 軟弱地盤が確認された箇所はどこか。

農林水産課長 浜吉田地区の東西に走る3カ所の路線と逢隈いちご団地の高速道路側の2路線について軟弱地盤層が見られました。

一般会計 4,620万円追加し、
596億1,818万円に

平成25年度11月補正予算の主な事業

・いちご団地内農道舗装工事等 4,620万円

町政のことが聞きたい

「一般質問」は町長に対し、事務の執行状況や将来に向けての考えなどを質すものです。
今回は6人の議員が質問しました。

四宮規彦議員 7P

・亘理町「まちづくり協議会」について

佐藤アヤ議員 8P

・災害公営住宅について
・特定健診の取り組みについて

鈴木邦昭議員 9P

・陸上自衛隊との合同防災訓練及びヘリポートの設置について
・本町管理の排水路等の整備について

高野 進議員 10P

・雪穴地域（館南上区）からの土石掘削及び運搬について
・来年度予算編成について

鞠子幸則議員 11P

・被災者の生活再建について
・中小企業の振興について

高野孝一議員 12P

・山並みの眺望を守ることについて

まちづくり協議会に望むものは

社会教育、生涯教育事業の実施



問 「まちづくり協議会」の主な事業と参加人数は。
町長 亘理地区はコンサート、夏祭り、オリブの試験植樹などに450人程が参加しました。荒浜地区は復興祭、灯ろう流しと鎮魂の事業に936人。吉田西部地区は花火大会、運動会、講演会などに3558人。吉田東部地区はスポーツ大会、駅周辺の環境整備、常磐線仙台―浜吉田駅間運行再開記念式典などに5302人。逢隈地区はハイキング、花畑事業、地域に於いてのシンポジウムなどに3120人の参加者がありました。

まちづくり協議会の今後の在り方

問 協議会には今後どのような事業を望むのか。
また、留意する点は。
町長 地域住民との協力と連携をしながら「地区計画」を策定して公民館が行なってきた社会教育、生涯教育のための事業を実施する方向で検討しています。
さらに地域づくりの事業には町民が主体となるものや町民主導で行政が協力するもの、双方が対等な協力によるもの、行政主導で町民の協力が必要となるものがあります。これらのことに留意してまちづくり協議会と行政が豊かで活力のある地域社会の実現を目指していくものと考えています。

維持管理について

問 平成25年度の町づくり協議会の事業費、人件費を含む事務所の維持費の割合は、
町長 亘理地区の事業費が1012万円、事務所維持費が665万円。荒浜地区が1023万円、



亘理地区まちづくり協議会の作業の様子

事務所維持費が627万円。吉田東部地区の事業費が894万円、事務所維持費が627万円。吉田西部地区の事業費が946万円、事務所維持費が575万円。逢隈地区の事業費が1003万円、事務所維持費が592万円となっています。事業費の総額は488

0万円、事務所維持費は3087万円となっております。事務所維持費の割合は63％となっています。
問 国の緊急雇用創出事業によって事務所の経費が多額となっている。この制度を今後も維持するのか。
町長 平成26年度もこの制度を基に予算措置を行なっています。



問 災害公営住宅の申込みを行っているが、申込み状況は。

また、空室の対応は。

町長 集合形式の公営住宅については、建設戸数400戸に対して、仮決定戸数が271戸で、残戸数が129戸となっています。戸建形式の公営住宅については、建設戸数97戸に対して、仮決定戸数が93戸で、残戸数が4戸という状況です。

今後の対応として、応急仮設住宅制度および見なし仮設住宅制度が廃止になるまでは災害公営住宅として募集をかけていきますが、その後については一般の町営住宅として募集し、管理していきます。



建設中の災害公営住宅（荒浜西木倉）

再質問 現在何世帯の方が未回答なのか。
被災者支援課長 仮設住宅については8世帯で、見なし仮設住宅については100世帯の方が現在未回答となっています。

問 災害公営住宅に集会所を設けるが、町職員を配置する考えは。
町長 地域住民の交流の場であり、仮設住宅ではないので、職員の配置については考えていません。

再質問 一人暮らしや高齢者の方が多い災害公営住宅になると考えるが、町職員を配置し、仮設住宅の集会所で行っていた

町長 現在の職員の体制や管理方法では事務処理に限界があると考えます。そのため、宮城県住宅供給公社への管理代行についても現在検討中です。

特定健診の取り組みについて

糖尿病の予防対策が重要

問 町民の健康を推進し、医療費の削減のため、40歳から74歳の方を対象に特定健診を行っているが、25年度の受診率は。
町長 現在6595人に受診票を発行していますが、受診者は2865人で、11月末の受診率は43・4%です。

問 糖尿病は新規透析導入最大の原因疾患と言われているが、本町では透析治療を受けている方は何人いるのか。

また、本町の今後の取り組みは。

町長 人工透析治療を受けている方は10月末現在で40人います。人工透析治療には年間で約2億円の医療費がかかることから、特定健診をきちんと受けていただき、糖尿病の予防対策をすることが最も大事であると考えています。

自衛隊ヘリ部隊との合同訓練について

本年開催に向け協議中

問 大規模震災時や風水害等を想定し、迅速かつ効果的な自衛隊との合同訓練を本町独自で実施してはどうか。

また、機動性の優れたヘリ部隊との救助訓練等を実施してはどうか。

町長 県や自衛隊、そして海上保安庁等の関係機関と密に連携を取りながら、さまざまな訓練を合同で実施していきたいと考えています。

また、ヘリ部隊との救助訓練については、平成26年8月31日に本町と県との総合防災訓練の合同

開催を予定しており、自衛隊ヘリ部隊との救助訓練を協議中です。

問 避難場所に指定されている各学校や公共施設の屋上等に救助ヘリから施設が識別できる標識番号を設置しては。

教育長 現在、作成中の地域防災計画の中に、大規模災害時における緊急消防援助隊の航空部隊や自衛隊のヘリ部隊による支援活動が円滑に行えるよう「ヘリサイン」の整備を検討する内容になっていますので、総合的な調整を図りたいと考えて

います。

問 仮称巨理PA・スマートICが平成28年に完成の予定だが、PAに災害時用の大型ヘリも離発着できるヘリポートを設置してはどうか。

町長 スペースの関係や、設計も終了し、建設工事も進んでおりますので、東日本高速道路側からは、ヘリポート設置の計画はないと聞いています。



巨理パーキングエリア・スマートICの建設現場

排水路等の整備について

緊急度の高い箇所から整備

問 豪雨により町管理の排水路等から水があふれ、付近一帯が浸水し、近隣住民は困っている。今後、このような排水路に対し、どのような対策を講ずるのか。
町長 今後も地元の区長と相談し、緊急度の高い箇所から優先し、整備を進めていきます。

問 町内に流れの悪い排水路がある。夏になると臭いが漂い、付近の住民は困っている。流れの悪い排水路は、今後どのように整備していくのか。

町長 今後も定期的に土砂等のしゅんせつを行い、適正な維持管理に努めます。

防災集団移転対象者の拡大を

災害危険区域外も可能



問 防災集団移転促進事業の造成地の宅地の境界にブロックを設置してはどうか。

町長 宅地間の境界の表示方法については、当初、境界杭などの設置を計画していましたが、移転対象者と整備計画の検討会を開催したところ、多数の方々から境界ブロックの設置の要望があったことから、将来境界間の問題などが発生しないように構造物による明示が必要と判断し、境界ブロックを設置することにした。

問 防災集団移転促進事業の移転先の土地について、災害危険区域外の方でも購入できるようにしてはどうか。

町有地借受申請を差し戻しては

住民の意向を最大限尊重



問 館南上区の雪穴地域から140万㎡の土石を掘削し、亘理中学校正門東側道路を経由して運搬する事業計画がある。

運搬車両の往復は1日当たり200台を計画しており、通学する児童生徒や地域住民は生命および生活の安全に危機感を持っている。この事業に対する町の考えは。

町長 この事業は民間企業が計画している事業であり、通行の安全面等に関して、現在、企画調整会議の中で検討中です。その際には地域住民の方々の意向を最大限尊重しながら考えていきます。

問 事業を開始した場合に通学路の変更はあるのか。

一般質問

高野 進 議員

教育長 企画調整会議の結論を考慮し、学校側と十分に検討していきます。

問 地域住民は沢水を日常的に使用し、大雄寺の水は震災避難者等の「命の水」となった。この事業により水源が枯渇する恐れがある。同時に、避難場所としての亘理中学校の機能、役割が著しく低下する。さらに、地域住民は樹木伐採に伴う鉄砲水や土石流の発生に強い危機感を抱いている。

このようにして考えるか。

町長 地域住民の方々の安全・安心や避難場所などを考慮しながら判断していきます。

問 採石現場に至る途中に町有地がある。この供与には町の使用許可が必要になると思うが、町有地借受申請を差し戻してはどうか。

企画財政課長 町の企画調整会議を経て、企業に回答します。



亘理中学校後方の雪穴地区

水道料金 消費税の増税分を引き下げては

安定供給のため難しい

問 来年度は町長選挙がある。予算編成は骨格予算か。間断なく復興事業を推進するためには肉付予算にしてはどうか。

町長 来年度の予算編成は骨格予算で計上しますが、復旧、復興事業は当初予算に計上します。

問 来年4月から消費税が5%から8%になる。町民の負担軽減を図るため、水道料金を消費税増税後も現在と同額になるように現行料金の引き下げを行ってはどうか。財源は水道事業の利益剰余金で充当する。

町長 田沢浄水場や耐用年数を超えた水道管の入れ替えにも多額の費用が必要になってきます。安定供給のため料金の引き下げは難しいと考えています。

中小企業振興基本条例の制定を

関係機関の意見を聞き、検討



盛土工事が完了した防災集団移転団地（吉田上塚）

問 町の産業振興、地域経済振興にかかわる「憲法」と言われるもので、地域経済の担い手である中小企業の要求に沿った

地域づくりを進めていく基本的な考え方を示す中小企業振興基本条例を制定してはどうか。

町長 復興半ばでもあ

一般質問

鞠子 幸 則 議員

平成25年11月 第24回臨時会 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無記名投票：無記名投票
※議長は採決に加わりません。

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	賛成数	反対数	議決結果	議 員 名 (議 席 番 号 順)																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
							鈴木洋子	高野孝一	熊田芳子	小野一雄	佐藤正司	安藤美重子	百井いと子	鈴木高行	鈴木邦昭	渡邊健一	四宮規彦	高野進	熊澤勇	佐藤アヤ		鞠子幸則	佐藤隆實	安細隆之
議案第128号	土地の取得について（亘理町防災集団移転促進事業）	11.22	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第129号	平成25年度亘理町一般会計補正予算(第6号)	11.22	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議

平成25年12月 第25回定例会 議案等の審議結果

議案第130号	亘理町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第131号	延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整理等に関する条例	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第132号	亘理町町税条例の一部を改正する条例	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第133号	亘理町町営住宅条例の一部を改正する条例	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第134号	亘理町水道事業給水条例の一部を改正する条例	12.13	17	16	15	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	議
議案第135号	亘理町下水道条例の一部を改正する条例	12.13	17	16	15	1	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	議
議案第136号	字の区域を変更することについて	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第137号	公の施設における指定管理者の指定について	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第138号	工事請負変更契約の締結について（平成25年度亘理町立達隈中学校プール災害復旧工事）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第139号	工事請負変更契約の締結について（平成25年度亘理町立達隈小学校災害復旧工事）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第140～145号	工事請負変更契約の締結について（平成25年度亘理町防災集団移転促進事業（荒浜中野・吉田舟入北・吉田大谷地・吉田南河原・亘理江下第1、第2工区団地）宅地整備工事（復交））	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第146号	工事請負変更契約の締結について（平成25年度亘理町防災集団移転促進事業（亘理江下団地第1工区）上下水道整備工事（復交））	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第147～148号	工事請負変更契約の締結について（平成25年度亘理町災害公営住宅（下茨田・上浜街道）整地工事（復交））	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第149号	平成25年度亘理町一般会計補正予算（第7号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第150号	平成25年度亘理町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第151号	平成25年度亘理町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第152号	平成25年度亘理町介護保険特別会計補正予算（第2号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第153号	平成25年度わたり温泉鳥の海特別会計補正予算（第2号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第154号	平成25年度亘理町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第155号	平成25年度亘理町工業用地等造成事業特別会計補正予算（第2号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
議案第156号	平成25年度亘理町水道事業会計補正予算（第3号）	12.13	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（小野清一氏の推薦）	12.13	17	16	16	0	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議

地肌が露出 阿武隈高地の自然

亘理町のシンボル 将来は緑化



問 復興等で山砂の需要が増え、露出面積は拡大、さらに今後山林開発の予定がある箇所で採取が進むことにより、ますます景観が損なわれることが懸念されるが。

町長 景観に配慮した開発となるよう、また土砂採取終了後の緑化等の実施について、法令や計画等の遵守が図られるよう、林地開発行為および土砂採取行為の許認可機関である宮城県と連携して監視や指導を徹底していきたいと考えています。

問 町長は阿武隈高地の風景についてどのように感じているか。

町長 愛宕山を中心とした阿武隈高地は、本町の

シンボルではないかと思っています。現在、長瀬地区と小山地区、そして上郡地区の3カ所の山肌が見えます。これらについては、県の許認可をもらい土砂採取法に基づき行っていますが、その後緑化してもらい、昔のような状態にしていたきたいと考えています。

問 亘理町環境基本計画に豊かな自然と調和したさまざまな景観は、私たちが誇ることができる貴重な財産であることから、これらの保全に努めますとある。今回、景観と保全に対する働きかけは。

農林水産課長 県では盛り土材を供給するという観点から、ある程度開発区域内の安全が確保できれば許可を出さざるを得ないという回答をいただいています。

問 この環境基本計画の中に住むことへの安心と誇りを実感できるように



鳥の海から阿武隈高地および蔵王連峰を望む

この基本計画をつくったとある。しかし、採取現場の近隣に住む町民からは、生活の不安や環境に対する落胆など多くの意見が出されている。この方たちへどのような説明をするのか。

町長 亘理町民が暮らしやすさや、誇りを持って実感できるまちづくりについては最も重要だと考えています。採石が終わり次第、新たに植林して景観を前に戻すことを業者あるいは県に対しても強く要望し、これから5年にわたり採石しますが、その間だけは十分ご理解をいただきたいと考えています。

請願・陳情

内 容	提 出 者	対 応
要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書	公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部代表 関東 澄子	配布

議会の動き

9月25～26日	宮城県町村議会議長会議長研修
10月2～4日	巨理地方町議会議長会正副議長視察調査
10月15～16日	教育福祉常任委員会先進地視察調査
10月28～30日	産業建設常任委員会先進地視察調査
10月29日	巨理名取地区市町議会連絡協議会行政懇談会
11月5～6日	南部ブロック委員長研修会
11月6日	巨理名取共立衛生処理組合臨時議会
11月7～8日	市町村アカデミー防災特別セミナー
11月13～14日	全国町村議会議長会全国大会
11月18日	全員協議会
11月22日	11月臨時会
11月28日	巨理地方町議会議長会役員会
11月28日	南部ブロック議長会議
12月3日	全員協議会

※このほかに議会運営委員会、各常任委員会等を開催しています。

議長交際費を公開します

No.	内 容	支出金額	No.	内 容	支出金額	No.	内 容	支出金額
1	県南ブロックなでしこグランドゴルフ大会ご祝儀	3,000円	1	産業建設常任委員会先進地視察調査時お土産代	10,300円	1	第4回地域復興マッチング「結の場」負担金	2,000円
2	教育福祉常任委員会先進地視察調査時お土産代	11,000円	2	元巨理町教育長逝去弔慰金	5,000円	2	第12回ソフトバレー・チャレンジフェスティバルinわたり大会ご祝儀	3,000円
3	福島県会津坂下町議会視察来町時お茶代	2,400円	3	山元町議会議長実母逝去弔慰金	5,000円	3	平成25年度農政懇談会会費	10,000円
4	山形県大江町議会視察来町時お茶代	2,400円	4	千葉県館山市議会視察来町時お茶代	1,560円	4	元巨理町消防団副団長叙勲受章祝賀会会費	5,000円
5	和歌山県海南市議会視察来町時お茶代	1,200円	5	北海道渡島町議会議長視察来町時お茶代	2,400円	5	南部議長・事務局長合同会議交流会会費	5,000円
6	巨理名取地区市町議会連絡協議会宮城県議員との行政懇談会会費	20,000円	6	宮城県選出国議員と町村議会議長との意見交換会会費	8,000円		12月分計 5件	45,000円
	10月分計 6件	40,000円	7	JAまつり「復興祭」ご祝儀	3,000円		11月分計 9件	47,570円
			8	元巨理町教育長逝去花環代	10,000円			
			9	元巨理町議会議員県知事表彰受章祝電代	2,310円			

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会は
2月27日(木)～3月14日(金)までの予定です。
そのうち一般質問は3月4日(火)、5日(水)を予定しています。
役場仮設庁舎2階大会議室で行われますので、お気軽にお越しください。

地域産業の再生について

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では荒浜・吉田東部地区の商店が東日本大震災により壊滅的な被害を受けたことから、兵庫県淡路市の阪神淡路大震災からの商店街再生に向けた取り組みを視察調査した。

また、公共建築物木材利用推進法が平成22年から施行され、全国的に木材の利用促進が図られているなか、地元産材の利用促進を図っている徳島県三好市の取り組みを平成25年10月28～30日に視察調査した。

淡路市の商店街は区画整理事業で復興を目指したが、事業が終了するまでに15年もの歳月を費やした。その間住民は他地域へ移住し、震災前のような商店街形成には至らなかった。

三好市では、地元産材

を利用した木造住宅建設を推進助成として、1戸当たり50万円を助成している。林業従事者が大幅に減少している中で、山林の保全をどのように確保するかが課題であり、解消策として補助金の助成が不可欠である。

本町でも少子高齢化による、商店街の衰退が懸念される。復興には何よりもスピード感をもって取り組むことが求められる。



児童生徒の体力向上の取り組みについて

教育福祉常任委員会

宮城県教育委員会の体力、運動能力調査の結果では、東日本大震災の前で児童生徒の運動能力の低下傾向が顕著だった。そのことを受け、教育福祉常任委員会では被災した小中学校の児童生徒の運動不足が懸念されることから、健康でたくましい子どもを育てることを目的に、平成25年10月15日、16日に茨城県常陸太田市立機初はたはら小学校と高萩市立秋山中学校を視察調査した。

機初はたはら小学校は茨城県の体力アップ推進事業を取り入れており、朝の会などで、腹筋運動やプットレーニングを継続している。

秋山中学校では研修を受けた体育主任教諭を中心に「体力づくりの時間」を設定し、幼保・小中連携しながら体力向上に取り組んでいる。

本町では震災後の復興・復興が大変な時期ではあるが、地域の方々と連携を密にし、学校や家庭での体力向上に向けた継続的かつ実践的な取り組みを図っていくことが望まれる。



私もひとこと

議会を傍聴して



馬場 仁子さん
(館南 69歳)

以前より議会を傍聴したかったのですが、仕事の都合上、行くことができませんでした。しかし、今回の定例会で初めて議会傍聴ができました。

私はこの大震災で家を追われ、見なし仮設に住んでいますが、亘理町がもつともつと活力あふれる元気な町になることを期待しています。

今回の定例会では、6人の議員の方々が通告に沿って、一つ一つ質問をしていました。その反面、他の議員の方々はなぜ質問をしないのかという疑問を持ちました。

町民の方々から選ばれて議員になられたのだから、教育問題や住みやすい町にするために、どのような考えを持っている



わたり温泉の早期再開を



紅林 紀正さん
(中泉 73歳)

わたり温泉鳥の海は震災後休業したままで、町民の一人としてとても寂しい限りです。

今年中には日帰り入浴再開ということですが、再開時には子どもさんからお年寄りの方まで皆が楽しめるような公園やオートキャンプ場等を設置し、キャンピングカーも利用できるような周辺整備を進めていただきたいと思います。

また、土日祝日に運行をしていない、さざんか号を毎日運行させていただくことにより、交通手段を持たない高齢者や町



民の方も容易にわたり温泉に行けるようになりま

編集後記

東日本大震災から3年近くが経過し、復旧から再生期の年を迎えます。避難生活を余儀なくされている皆さんの1日も早い生活再建に向けて、多くの課題に町当局と熱い議論をかわしています。

町議会は「いつでも町民と共にある」ことを胸に刻み、これからも良い町づくりを目指し頑張っていきます。

委員会の構成変更により、これから2年間新たな広報委員で、議会広報の発行を行っていきます。皆様により理解され、ご愛読いただけますよう、分かりやすい紙面づくりに心がけて行きたいと思っています。

(S・S)

議会広報常任委員会

委員長 佐藤 正司
副委員長 百井いと子
委員 熊田 芳子
鈴木 邦昭
渡邊 健一
高野 進

議会に関する詳しい内容は亘理町のホームページからご覧になれます。

<http://www.town.watari.miyagi.jp/>